

高等司法研究科独自の給付型奨学金制度

高等司法研究科では、経済的理由により修学が困難な本研究科の学生を支援するため、個人や企業・団体の皆さまからのご寄附を基金とした「給付型の奨学金制度(修学支援事業基金)」を設けました。2018年度から年額30万円の奨学金を給付しています。

詳しくは教務係へお問い合わせください

その他の経済的サポート

●授業料免除

大阪大学の入学料免除及び授業料免除制度の適用があります。

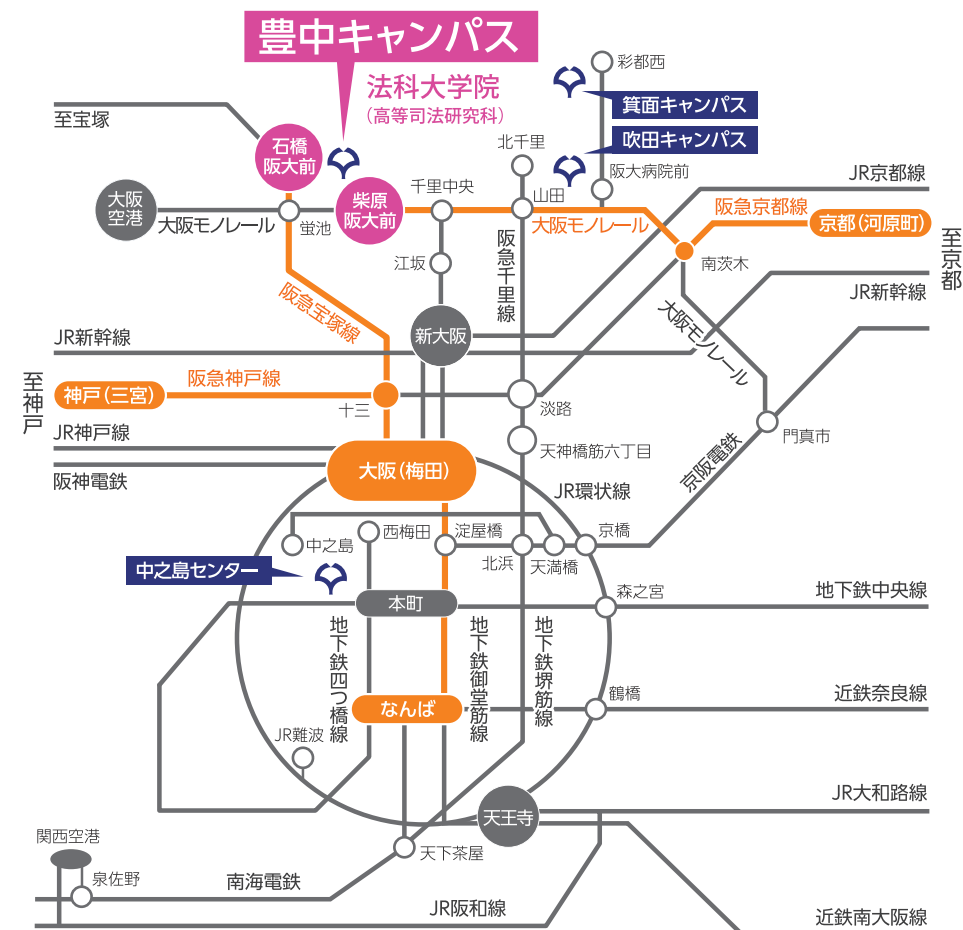
●奨学金

日本学生支援機構(大学院奨学生)、地方公共団体及び民間奨学団体の奨学金の利用が可能です。

(詳しくはWEBをご覧ください)

<http://www.lawschool.osaka-u.ac.jp/scholarship/>

交通アクセス



大阪(梅田)から 約40分

阪急電鉄 大阪梅田駅

阪急電鉄 宝塚線 石橋阪大前駅

(徒歩)

大阪大学豊中キャンパス

なんばから 約55分

地下鉄御堂筋線 なんば駅

地下鉄御堂筋線 梅田駅

(徒歩)

阪急電鉄 大阪梅田駅

阪急電鉄 宝塚線 石橋阪大前駅

(徒歩)

大阪大学豊中キャンパス

神戸(三宮)から 約65分

阪急電鉄 神戸線 神戸三宮駅

阪急電鉄 十三駅

(宝塚線へ乗換)

阪急電鉄 宝塚線 石橋阪大前駅

(徒歩)

大阪大学豊中キャンパス

京都(河原町)から 約65分

阪急電鉄 京都線 京都河原町駅

阪急電鉄 京都線 南茨木駅

(徒歩)

大阪モノレール 南茨木駅

大阪モノレール 柴原阪大前駅

(徒歩)

大阪大学豊中キャンパス

待兼山から羽ばたく。

お問い合わせ

大阪大学大学院高等司法研究科 教務係
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-6
TEL:06-6850-6948
HPアドレス:
<http://www.lawschool.osaka-u.ac.jp/>



待兼山から羽ばたく。

社会の変化に伴い、法曹の活躍の場は、多種多様な領域へ広がりつつあります。

入学される皆さんが真の「Legal Professionals」に成長し、

本学のある待兼山から、広大な司法の世界へ羽ばたけるよう

私たちは一丸となって、全力でサポートします。



大阪大学法科大学院で学ぶ



高等司法研究科長
水谷 規男

法科大学院制度が始まって16年、大阪大学法科大学院からは1000人を超える修了生が法曹や公務員、企業人などとして、多様な分野で活躍しています。しかし、司法試験予備試験が始まって以降、法科大学院はその存在意義を問われ続けています。法曹を志す皆さんも、予備試験と法科大学院のどちらを選んだらよいのか、迷うことがあると思います。そんな人のために、大阪大学法科大学院の強みを示しておきたいと思います。

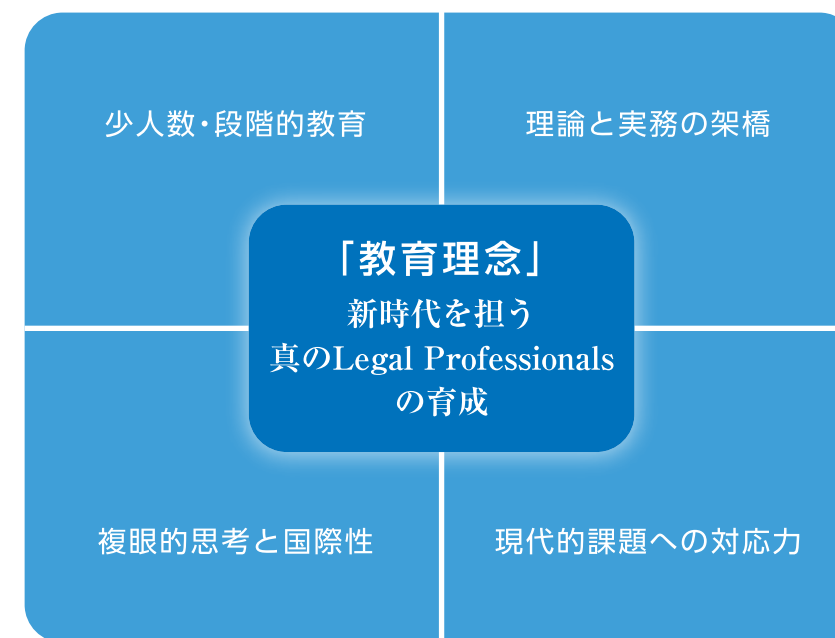
法科大学院制度は、司法試験という一つの試験(点)だけで法曹となるべき人を選抜するのではなく、法学の理論と実務を有機的に組み合わせ合わせた教育(プロセス)によって法曹を養成するという理念に基づいて創設されたものです。

また、大阪大学法科大学院では、独自の取組として、学生一人ひとりの学びの質を向上させるための学習支援の取組(コンタクトチャートシステムなど)と修了後の進路の多様化のための取組(キャリア支援科目の展開や大学の教育・研究活動をサポートする新たな弁護士職域を開拓する「智適塾」プロジェクト)などの様々な取組を行うことによって、プロセスとしての学びの質を向上させる努力を重ねてきました。法学部以外の学部や社会人経験のある人に開かれた法学未修者コースから多くの司法試験合格者を出していることも大阪大学法科大学院の強みです。2020年度からは法学部に法曹コースが設置され、学部との一貫した教育によって、法曹となるための時間の短縮が図られます。

ただ一人で勉強して司法試験に合格すればよい、という姿勢では、よき法曹となることはできないでしょう。同じ志を持つ仲間と切磋琢磨し合い、その仲間が修了後も仲間として、刺激し合っていく。そんな関係は、大学においてこそ築くことができるものです。

大阪大学法科大学院のある豊中キャンパスは、千里丘陵の西端、待兼山にあります。枕草子にもその名が記され、歌枕として知られる景勝の地にあるキャンパスの中でも、法科大学院生の自習室のある豊中総合学館の上層階からは、大阪平野が一望できます。この恵まれた環境の中で学び、これからの社会を支えていく人になる。そんな皆さんの夢を叶える場が大阪大学法科大学院です。

教育理念を支える 4 つの柱



羽ばたいた先輩たち

OB・OG interview

仕事のフィールドを自分で作る
創造的な喜びを感じています。



弁護士

黒田 佑輝 Kuroda Yuki

2007年度 法学未修者コース修了
大江橋法律事務所 勤務

弁護士は、取扱う法分野も、アプローチの仕方も自分で決めることができるという、自由と創造性のある職業です。

私は、「知的財産」「情報」「医療」の3分野を中心に取扱っています。知的財産分野では、特許に関する訴訟の代理やライセンス契約の作成といった業務があります。情報分野では、企業が国内外で展開する事業の中で用いる個人情報の適法な取扱いをサポートしています。企業にとって、個人情報の重要性は増す一方ですが、その取扱いのルールは複雑でかつ国によって異なり、適法に事業を行うことは容易ではありません。医療

分野では、医薬品の製造販売や医学研究に課される規制への対応などを行っています。例えば、人のDNAを用いた医薬品の開発といった最先端の分野では、そもそもルールも明確ではありません。

これまでの経験で分かったのは、弁護士は、様々な形で依頼者や、さらに社会全体に対して貢献できるということです。私自身、訴訟や法律相談といった業務だけではなく、例えば依頼者と共に省庁を訪問して事業の適法性を議論して整理したり、法学研究者と一緒に法改正に対してパブリックコメントを提出したりといった活動もしています。

私の日常業務で、ロースクールで学習する基本的な法律を直接扱うことは多くありません。しかし、弁護士として新しい分野に取り組むためには、基礎が確立していることが不可欠です。阪大ロースクールでは、先生や友人との出会いを通じて、そうした基礎を身につけるために必要な環境が整っています。本学でしっかり学び、弁護士という仕事の幅広さ、そして面白さを分かち合える後輩が一人でも多く巣立つことを願っています。

法律と良心に従い、
紛争解決にあたっています。



実務家としての土台を築けた
阪大ロースクールでの2年間。

私が裁判官を目指したきっかけは、法科大学院の派遣裁判官教員の授業で、裁判官の仕事のお話を聞き、関心を抱いたことにあります。司法試験合格後、裁判所での司法修習の際に、当事者双方の言い分を詳細に聞いた上で解決案を提示し、お互いの納得が得られた和解期日を見て、判決を示すだけではない様々な手法で紛争の解決を主体的に導くことができる点に裁判官の職務の魅力を感じました。

現在、判事補として民事事件や少年事件を主に担当していますが、純粋に法律と良心のみに従って、自らが最善と考えた事件進行、和解勧誘、判決等の起案などで、紛争解決や少年の健全育成に取り組むことができることに充実感を覚えています。

法科大学院で2年間かけて学んだことは私の法的素養の基礎となっており、法律論で悩みが生じたときには、今なお授業で教わったときの場面が思い出されることがあります。また、質問や相談だけでなく、時に懇親会の時間も快く設けてくださった学生思いの先生、第一線で活躍されている実務家教員、外部講師の先生や、常に協力しあえる関係にあった同期たちに囲まれた環境も、

私は、阪大ロースクールを修了後、司法修習を経て、検事に任官しました。

私が阪大ロースクールに入学してよかったと思う点は、日々受講する講義の内容が、基本的な法律知識を身につけられるものであるのはもちろん、判例実務を意識した司法試験対策に直結するものだったことです。そして、何より教授の方々が指導熱心で、指導を望む学生に対しては、講義終了後のみならず、いつでも時間を割いてくださるため、自分の納得がいくまで丁寧な指導を受けることができました。その上、阪大ロースクールには、実務家になった後に必要とされる能力を養うことができるカリキュラムが用意されているため、私がロースクールに在籍した2年間のうちに、実務家としてやっていくための土台を作り上げていくこともできました。

私は、今でも、ロースクールで学んだことを時折思い出しながら執務に当たっており、このメッセージ

合格までの成長にとって、かけがえのないものでした。卒業後の今も、あのとき、一緒に時間を過ごした、先生方や友人たちとの繋がりは私の財産です。

この環境を最大限活かして、社会にとってなくてはならない法曹三者の職を共に担っていただける方が育っていかれるのを楽しみにしています。



裁判官

岩谷 彩 Iwatani Aya

2014年度 法学既修者コース修了
和歌山地方家庭裁判所 裁判官

をお話しさせていただきながら、改めて阪大ロースクールに入学してよかったなと感じています。

検察官

2013年度 法学既修者コース修了
東京地方検察庁 検察官

法曹の知識・能力を

固める

法律基本科目

公法系、民事系、刑事系の科目は、基礎→応用→発展と着実に知識と能力を積み上げていけるような段階的履修モデルを提供し、高度な法的知識・能力を培います。

1
年次

基礎

2
年次

応用

法学未修者が法科大学院の講義に耐えうるだけの法学の基礎的な学識を修得する。

発展

発展的な事例問題を、理論と実践、実体法と手続法など異なる視点から検討し、積み上げ型学修の総仕上げを行う。

基礎科目で習得した基礎学識を応用する力を、事例研究などを通じて身につける。法学既修者は基礎科目を修得したものとみなし、応用科目から学び始める。

Teacher's
Voice

法律基本科目
松本 和彦 教授

知識だけでなく事案解決に必要な能力の修得を目指す

法律基本科目である「憲法応用1」では、仮設の事例問題を素材に、憲法の基本知識を応用し、具体的な事案解決に資する憲法解釈論の組立て能力の涵養を目指しています。そのため、判例や学説などの知識の定着を図るだけでなく、事案の分析や先例の区別といった、事案解決に必要な能力も併せて修得できる授業を心がけています。



開講科目はP.7をご覧ください

理論と実務を

架橋する

法律実務基礎科目

法曹としての基礎的な実務能力及び責任感・倫理観を身につける核となる必修科目に、幅広い分野で理論と実務を架橋し応用能力の深化を図る選択必修科目を合わせて約20科目開設しており、主に実務家教員が担当します。

実務能力

法曹に求められる倫理観、事実認定の方法など、実務の基礎を身につける。

応用能力

模擬裁判や文書作成などを通じて、知識を実践的に使いこなす。

Teacher's
Voice

法律実務基礎科目
川上 良 教授

よりよい社会を支えるためにチャレンジし続ける法曹へ

法律実務基礎科目は、第一線で活躍する実務家教員が担当し、積み上げた知識を基礎に、“よりよい社会を築く力”を一人ひとりが身につけることが目標です。実務家教員ならではの、リアルな現場、そのとき法曹として何を考え、どう行動したかをリアルに伝え、皆さんとともに考え、チャレンジする機会がここにあります。



開講科目はP.7をご覧ください

法曹の素養を

深める

基礎法学・隣接科目

法曹としての素養を深めることを目的として基礎法学分野、隣接諸分野に関する約10科目を開講しています。幅広い教養と豊かな人間性を培い、複眼的思考による深い洞察力を養います。

基礎法学分野

法や裁判の基礎の理解を深める。

人間性 教養 洞察力

法学に限らない幅広い視野や関心から法や紛争をとらえる。

Teacher's
Voice

基礎法学・隣接科目
三阪 佳弘 教授

「法」をデザインできる能力を養う

基礎法学・隣接科目は、法曹としての素養を深めることを目的とした科目です。ここでは、いまある「法」を固定的・不変のものとして見るのではなく、変わりうるものとして批判的に検討します。これらの科目では、社会科学の様々な手法によって法を観察する能力を養います。そのことは、皆さんの未来に向けた法のデザイン力を高めることになるでしょう。



開講科目はP.7をご覧ください

法曹の可能性を

広げる

展開・先端科目

法曹としての専門性をさらに高め、現代社会における最先端の法的諸問題への柔軟な対応力と学識を涵養するとともに、学生個々のキャリアプランに基づく様々な教育ニーズが満たされるよう40以上の多種多様な科目を開講しています。特に学生の関心が高いと思われる「知的財産法」「ビジネス法」に関する科目を充実させ、3つの具体的な履修モデルを提案しているのが本学の特長です。

知的財産権に関する
専門的法曹を目指すなら

履修モデル
1

知的財産権プログラム

知的財産保護の具体的な仕組みや紛争の処理、知的財産と訴訟との関係などを重点的に学ぶ。

知的財産法1・2／経済法1・2・演習／特殊講義C（特許・著作権訴訟）／金融法／金融商品取引法／信託法／特殊講義C（金融取引の契約実務）等

企業法務に関わる
法曹を目指すなら

履修モデル
2

企業財務プログラム

株式・社債の発行など企業が外部から資金を調達する際に利用する法制度について実務の視点を踏まえて学ぶ。

倒産法基礎・応用・演習／税法1・2・演習／コーポレート・ファイナンス／金融法／金融商品取引法／信託法／特殊講義C（金融取引の契約実務）等

企業経営を支援する
法曹を目指すなら

履修モデル
3

経営支援プログラム

企業間取引の円滑な履行や円満な事業承継等を実現するための法制度の利用方法について具体的に学ぶ。

倒産法基礎・応用・演習／経済法1・2・演習／労働法基礎・応用・演習／国際私法1・2／国際取引法／消費者法／信託法 等

Teacher's
Voice

展開・先端科目
水島 郁子 教授

選択科目ごとに充実した講義科目を用意

司法試験の初日、最初の試験が選択科目です。知的財産法や経済法、労働法等8科目から選択しますが、本学では、どの科目を選択しても、十分に学習できる講義科目を用意しています。私が担当する「労働法応用」では、共通の専門的関心や目標を持つ十数名が本試験を率先良く乗り切れるよう、切磋琢磨しています。



開講科目はP.7をご覧ください

開講科目

(2020 年 4 月 1 日現在)

法律基本科目		
区分	科目名	配当年次
公法系科目	憲法基礎 1	1
	憲法基礎 2	1
	憲法応用 1	2
	憲法応用 2	3
	連携講義（憲法発展演習）	2 又は 3
	行政法基礎	1
	行政法応用 1	2
	行政法応用 2	2
民事系科目	公法総合演習	3
	民法基礎 1	1
	民法基礎 2	1
	民法基礎 3	1
	民法基礎 4	1
	民法応用 1	2
	民法応用 2	2
	民法応用 3	3
	民法応用 4	2 又は 3
	会社法基礎	1
	会社法応用 1	2
	会社法応用 2	2
	コーポレート・ガバナンス	2 又は 3
	民事訴訟法基礎	1
	民事訴訟法応用 1	2
	民事訴訟法応用 2	2
	民事訴訟法応用 3	3
刑事系科目	刑法基礎 1	1
	刑法基礎 2	1
	刑法応用 1	2
	刑法応用 2	2
	刑法応用 2	2 又は 3
	刑事訴訟法基礎	1
	刑事訴訟法応用	2
	刑事演習	3
その他	連携講義（刑事証拠法演習）	2 又は 3
	導入演習	1

法律実務基礎科目		
科目名	配当年次	
法曹倫理	2	
裁判実務基礎（民事）	2	
裁判実務基礎（刑事）	3	
刑事法律文書作成 1	2 又は 3	
刑事法律文書作成 2	2 又は 3	
公法訴訟	3	
弁護実務	3	
エクスターンシップ 1	2 又は 3	
エクスターンシップ 2	3	
模擬裁判（民事）	3	
模擬裁判（刑事）	3	
リサーチ&ライティング 1	1	
リサーチ&ライティング 2	2	
債権保全・回収の実務	3	
企業再建の実務	3	
特殊講義 A（民事裁判実務演習）	3	
特殊講義 A（政策実践と法）	2 又は 3	
特殊講義 A（契約実務）	2 又は 3	

基礎法学・隣接科目		
科目名	配当年次	
法理論	1	
法理学	1,2 又は 3	
比較法史	1,2 又は 3	
法社会学	1,2 又は 3	
ローマ法	1,2 又は 3	
現代行政学	1,2 又は 3	
財務報告戦略	2 又は 3	
生命倫理と法	2 又は 3	

展開・先端科目		
科目名	配当年次	
A	倒産法基礎	2 又は 3
	倒産法応用	3
	倒産法演習	3
	税法 1	2 又は 3
	税法 2	2 又は 3
	税法演習	3
	経済法 1	2 又は 3
	経済法 2	2 又は 3
	経済法演習	3
	知的財産法 1	2 又は 3
	知的財産法 2	2 又は 3
	労働法基礎	2 又は 3
	労働法応用	2 又は 3
	労働法演習	3
	環境訴訟	2
	環境法	3
	国際法 1	2 又は 3
	国際法 2	2 又は 3
	国際私法 1	2 又は 3
	国際私法 2	2 又は 3
	国際取引法	2 又は 3
	民事回収法	2 又は 3
	ADR 法	2 又は 3
	企業課税法	3
	消費者法	3
	コーポレート・ファイナンス	2 又は 3
	金融法	2 又は 3
	金融商品取引法	3
	社会保障法	3
	少年法	2 又は 3
	国際民事訴訟法	3
B	信託法	3
	課題研究 1	3
	課題研究 2	3
	特殊講義 C（特許・著作権訴訟）	2 又は 3
	特殊講義 C（アジア知的財産法）	2 又は 3
	特殊講義 C（土地境界紛争の諸問題）	3
	特殊講義 C（スポーツ法）	2 又は 3
	特殊講義 C（法医学）	1,2 又は 3
	特殊講義 C（金融取引の契約実務）	2 又は 3
	特殊講義 C（外国文献研究 1）	2 又は 3
	特殊講義 C（外国文献研究 2）	2 又は 3

必修科目 選択必修科目 選択科目

教員紹介

開講科目 / 教員紹介

法曹界の第一線で活躍する実務家・研究者の教員が、皆さんの教育に携わります。

専任教員



准教授
青竹 美佳
民法



准教授
片桐 直人
憲法



特任教授
神谷 善英
民事実務



教授
川上 良
弁護実務



教授
久保 大作
商法



准教授
品田 智史
刑法



教授
高橋 智也
民法



特任教授
滝口 広子
法曹倫理



准教授
武田 直大
民法



教授
谷口 勢津夫
税法



教授
茶園 成樹
知的財産法



教授
名津井 吉裕
民事訴訟法



教授
野呂 充
行政法



特任教授
橋本 円
金融法



教授
藤本 利一
民事訴訟法



教授
松井 和彦
民法



教授
松尾 健一
商法



教授
松本 和彦
憲法



教授
三阪 佳弘
法制史



教授
水島 郁子
社会法



教授
水谷 規男
刑事訴訟法



准教授
村西 良太
憲法

(五十音順)

兼任教員（学内）

教授	大久保 規子	行政法
教授	北村 亘	行政学
教授	坂口 一成	中国法
教授	高井 裕之	憲法
教授	高橋 明男	行政法
教授	武田 邦宣	経済法
教授	豊田 兼彦	刑法

教授	長田 真里	国際私法
教授	中山 竜一	法理学
教授	仁木 恒夫	民事訴訟法
教授	林 智良	ローマ法
教授	福井 康太	法社会学
教授	福田 雅樹	情報通信法
教授	松田 岳士	刑事訴訟法

教授	松本 博志	法医学
教授	村上 正直	国際法
准教授	齋藤 由起	民法
准教授	長谷川 佳彦	行政法
准教授	和仁 健太郎	国際法
特任准教授	陳 思勤	知的財産法
特任助教	申 賢哲	知的財産法

担当科目・職位は 2020 年 4 月以降のものです

1 年次生 国際総合科学部卒

同級生、上級生を問わず交流の機会があるから、
切磋琢磨しながら成長することができます。

私は、他学部を卒業して一般企業で働いた後、
本学へ入学しました。私が本学を選んだ理由は、
初学者に対する手厚いサポートと快適な学習環境
があることです。たとえば、前者では教員との定期
面談や弁護士の先生が法律文書の書き方を教えて
くれる「再チャレンジ支援プログラム」があり、後者
では24時間使用できる自習室に個別の席が用意
されています。
学習面では、1年生の間に司法試験科目の基礎
科目をすべて履修します。しかし、いきなりすべて

の科目を履修するわけではなく、春夏学期では
憲法、民法、刑法の3科目に絞られています。それ
でも授業の進度についていくのは楽なことでは
ありませんが、同級生、上級生を問わず交流する
機会があるので、わからないところは気軽に質問
できます。
新入生は、不安も大きいと思いますが、切磋琢磨
して成長することができる環境が整っているの
で、
皆様のご入学を心待ちにしています。

ある1年次生の1週間		朝 ～8:50	1 限 8:50 ～ 10:20	2 限 10:30 ～ 12:00	3 限 13:00 ～ 14:30	4 限 14:40 ～ 16:10	5 限 16:20 ～ 17:50	6 限 18:00 ～ 19:30	夜 19:30 ～
	月	起床～ 予習	予習 民法基礎1に ついて予習	民法基礎1	自習室で基本書 を読む	再チャレンジ支援 プログラムの準備	再チャレンジ支援プログラム 弁護士アドバイザーとの質疑応答で 基礎力を養う		
	火	6:00に起床。 1限に授業 がある日は 予習。大学院 までの移動 時間にスマホ で条文を素 読してできる だけ法律に 慣れる。	予習 民法基礎2に ついて予習	民法基礎2	ローライブラリーで 判例のDVDを見る	予習 憲法基礎1に ついて予習	憲法基礎1	予習 翌日の刑法基礎1に ついて予習	帰りの電車で法 学の基本書を読 んだり短答式の 問題集を解く。帰 宅後は授業の予 習と復習。24時 頃就寝。
	水		刑法基礎1	法理論	復習・予習 刑法基礎1と法理論について復習、リサーチ& ライティング1について予習	リサーチ& ライティング1	未修の友人と食事 しながら学習方法の 意見交換		
	木		民法基礎1	予習 導入演習に ついて予習	導入演習	導入演習	定期面談 学習計画について アドバイスを受ける	オフィスアワー 進路について 先生の意見を聞く	
	金		予習 民法基礎2に ついて予習	民法基礎2	自習室で期末試験の 傾向を調べる	予習 特殊講義Cに ついて予習	特殊講義C	懇親会 同学年の友人や先生方と親睦を深めつつ 多様な考え方に触れる	

ある1年次生の1年

4月～
未修の不安を
交流会で解消
学生・教員・OBOGによる交流会。
勉強法の相談や先輩の体験談
などで未修の不安を解消。

5月～
緊張感のある授業で
基礎力を養う
基礎力を養う期間。少人数
クラスなので緊張感があり自
らと熱が入る。勉強に不安を感じ
たら定期面談で先生に相談。

8月～
合格者体験報告会で
モチベーションアップ
春～夏学期は授業の予復習で
手一杯だったので夏休みは知識
の定着や応用を意識して勉強
してみる。もちろん秋以降の予
習も大事。9月の「司法試験合格
体験報告会」で、未修から合格
した先輩の話が聞けモチベ
ーションがアップした。

11月～
自主ゼミで
自分の問題点を把握
秋～冬学期から勉強内容も増え、
大変だけど、慣れてきた実感も。
そこで友人たちと判例を検討する
自主ゼミを開始。自分ひとりでは
気が付かなかった問題点を把握で
きたり、友人の勉強方法を参考に
したり、とてもためになった。11月
の定期面談では秋～冬学期の期末
試験に向けた勉強方法を相談。

2月～
1年次の学びに加え
2年次への準備も
緻密なカリキュラムと先生や弁護
士アドバイザーのサポートのおか
げで、4月から入ってくる既修生に
負けない実力がついたと感じる。
けれどここからが正念場。苦手科目
を春休み中に克服するため、授業
の総復習に取り組む。4月以後、
司法試験合格までの勉強計画を
立て、選択科目の選択や2年次の
履修計画を立てる。

コンタクト・ティーチャー
との定期面談で勉強への
不安が取り除けました。

3 年次生 法学部卒

勉強に対する能動的姿勢を忘れることなく
本学で努力すれば、きっと良い結果に繋がります。

私が本学を選んだ理由は、大学院から別の大学
に行くのが面倒という短絡的な理由でしたが、この
選択は誤りではなかったと考えています。本学には、
内容の濃い講義はもちろん、個々に割り当てられた
自習用デスクや多数の書籍が保管されたロー
ライブラリー等、勉強の場として十分な環境が
整っているからです。司法試験に特化した勉強が
したい人や、更に発展的な勉強をしたい人のいずれ
のニーズにも応えることができると思います。

勉強においては、自らの意欲と環境の両方が必要
です。勉強に対する能動的姿勢を忘れず、本学で
努力すれば、きっと良い結果に繋がることでしょう。
皆さんが後輩として本学に入学することを楽しみ
にしております。

心強い先生方や
仲間たちと
司法試験本番を意識しながら
勉強しています。

2 年次生 法学部卒

学習環境の良さが本学の魅力。司法試験合格に
必要な条件が揃っていると感じます。

私は、大阪大学法学部に在学していたこともあり、
既修者として本学に入学しました。本研究科に
入学して感じたのは学習環境の良さです。自習室
は一人ひとりに固定席が与えられ、ほぼ毎日24時間
利用することができます。私は、自宅ではあまり勉強
に集中できないタイプなので、勉強だけに集中
することができる環境があることはありがたい
です。さらに、ロッカーやキャビネットも与えられて
おり、重い教材を持って毎日通学する必要がない
ことも魅力的です。

また、様々な科目が提供されており、自分の
将来設計に合わせて科目を選択することもでき
ます。他にも、コンタクトティーチャー（教員との
定期面談）制度があるため、学習方法や学生生活
について不安のある人は、担当の先生に相談する
ことができます。
このように、本学では司法試験合格のために
必要な教育及び学習環境が提供されていると
思います。皆さんと一緒に学ぶことができることを
楽しみにしています。

	朝 ～8:50	1 限 8:50 ～ 10:20	2 限 10:30 ～ 12:00	3 限 13:00 ～ 14:30	4 限 14:40 ～ 16:10	5 限 16:20 ～ 17:50	6 限 18:00 ～ 19:30	夜 19:30 ～
月	起床～ 予習	民法応用1	予習 裁判実務基礎に ついて予習	裁判実務基礎 (民事)	自主ゼミ 判例百選を素材に基礎知識を確認		オフィスアワー 自主ゼミの疑問点を 先生に質問	主に24時間開放 の自習室を使用 し、授業の予復習 や司法試験対策 の勉強。(予習が 間に合わない科目 は、土日も自習室 で勉強)実務家 の講演会や懇親 会に参加するこ とも。就寝は平均 24時頃。
火	5:30に起床、 準備の後、 授業の予習 をしてから 大学院へ。	予習 会社法応用1に ついて予習	予習 知的財産法1に ついて予習	会社法応用1	知的財産法1	自習 先週学習した項目を総復習		
水		予習 民事訴訟法応用1に ついて予習	民事訴訟法応用1	予習 憲法応用1に ついて予習	憲法応用1	院生談話室の パソコンで資料 を出力	自習 ローライブラリーで 判例解説を調べる	
木		行政法応用2	再チャレンジ支援プログラム 勉強会で、アドバイザーの助言を受けながら、 自身が学んだことを未修者に説明する力を磨く		16:20からの自主ゼミ に向けて答案作成	自主ゼミ 主に期末試験対策。憲法の事例問題について、 学生同士で論点を議論する		
金		予習 刑事訴訟法応用1 について予習	予習 刑法応用1に ついて予習	刑事訴訟法応用	刑法応用1	自習 自習室で短答式の 問題集を使って勉強	懇親会 息抜きの時間を作り リフレッシュ	

ある2年次生の1年

4月～
修得の偏差を考え
履修科目を選択
入学前に不得意だった科目があった
ので、先生に相談し満遍なく力が付く
よう科目を選択。

5月～
疑問を感じたら
オフィスアワーを活用
既修者にとって1年目は応用力を
養う期間。独習で解決できない
疑問点は、オフィスアワーを積極
的に活用し先生に質問。

8月～
司法試験へ向けて
実践的な力を付ける
春～夏学期の復習と秋～冬
学期の予習に加え、司法試験
へ向けた勉強も。参考書で
短答や論文の過去問を解くほ
か、司法試験本番を意識して
判例の検討をする。

11月～
定期面談で勉強の
方針が明確に
1日3～4時間の自習に加え、
自主ゼミに積極的に参加。仲間
と切磋琢磨することで授業の
補完や試験対策も捗る。11月の
定期面談ではコンタクト・ティ
チャーと今後の学習プランに
ついて話し合い、やるべきことが
明確になった。

2月～
キャリア形成のため
エクスターンシップに参加
キャリア形成のため、授業
の一環として法律事務所・
企業法務部門・地方公共
団体などにおいて法律実務を
体験し学ぶことができる
エクスターンシップに参加。
憧れの弁護士事務所での
研修を通じて、実務の実際や
法曹の心構えを教えていた
だいた。

エクスターンシップに
参加することで、
将来のビジョンが
はっきりしました。

ローライブラリー



法律関係の図書を所蔵しています。学習に必
要な判例などを検索できるDVDやインター
ネットリソースも利用可能。

模擬法廷



法廷実務およびプレゼンテーション能力をはじめ
とする法廷技術の実践的な学修を行う施設
です。

専用自習室



24時間利用可能。学生一人ひとりに固定の席
が割り当てられており、いつでも好きな時に
自習や予習復習ができます。

各種データ

司法試験結果

2019 年司法試験結果

受験者	短答合格者	最終合格者
112 人	86 人	46 人

最終合格者数・受験者合格率の推移

試験年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019
最終合格者数（人）	55	48	42	66	50	46
受験者合格率（％）	40.2	29.1	26.8	40.7	37.6	41.1

累積合格率（合格者／受験者実数）

累積受験者実数	累積合格者数	累積合格率
1035 人	694 人	67.05%

修了生の進路状況 （2020年3月1日現在）

修了年度	司法試験合格者											
	司法修習中	任官任検		弁護士				公務員	その他			
		裁判官 任官	検事任用	法律事務所 採用	公務員	国立機関 採用	企業内 弁護士	起業		企業	進学	不明
2012	0	2	2	37	0	1	2	2	1	0	0	1
2013	0	1	3	43	1	0	4	0	0	1	0	0
2014	3	2	3	46	0	0	1	4	0	1	0	3
2015	3	0	2	34	0	0	3	0	0	1	1	0
2016	11	1	5	36	0	0	3	0	1	0	0	1
2017	12	0	1	20	0	0	1	0	0	0	0	1
2018	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	47	6	16	216	1	1	14	6	2	3	1	6
%	14.7%	1.9%	5.0%	67.7%	0.3%	0.3%	4.4%	1.9%	0.6%	0.9%	0.3%	1.9%

2020 年度入学試験結果 （2020年3月31日現在）

志願者（人）						
一般選抜			特別選抜 (法学部3年次生)	特別選抜 (社会人等)	特別選抜 (グローバル法曹)	計*
法学未修者 コース	法学既修者 コース	小計				
92	261	353	16	20	16	405(116)

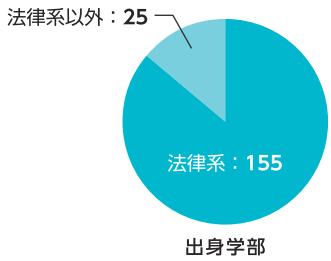
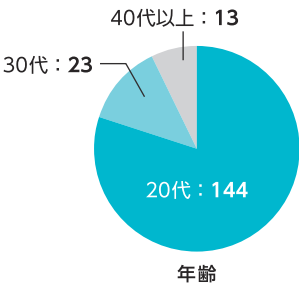
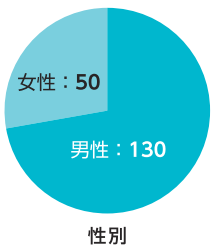
合格者（人）						
一般選抜			特別選抜 (法学部3年次生)	特別選抜 (社会人等)	特別選抜 (グローバル法曹)	計*
法学未修者 コース	法学既修者 コース	小計				
27	103	130	10	14	11	165(53)

※（ ）は女子内数

主な出身大学（合格者）	
大阪大学	34
同志社大学	16
神戸大学	15
大阪市立大学	12
京都大学	10
関西大学	9
立命館大学	9
慶応義塾大学	4
中央大学	4

在籍者（人） （2019年5月1日現在）

在籍者数 180
(内社会人 30)



入試案内

法科大学院が求める学生像(アドミッション・ポリシー)

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、高等司法研究科では、次の学生を求めます。

- 法学以外の専門的知識を十分に修得し、または、社会において多様な知識を獲得し、経験を積んでおり、自らが設定する課題を探索しようとする強い意欲と、厳格な成績評価・修了認定に耐えるだけの努力をする能力を備え、かつ、柔軟な発想のもとに「考える」という論理的プロセスを受け入れることができ、国際化による変化に対応しうる能力を有する学生
- 法学の基礎的な学識を既に修得しており、自らが設定する課題を探索しようとする強い意欲と、厳格な成績評価・修了認定に耐えるだけの努力をする能力を備え、かつ、柔軟な発想のもとに「考える」という論理的プロセスを受け入れることができ、国際化による変化に対応しうる能力を有する学生

選抜区分	特別選抜（社会人等）		特別選抜（グローバル法曹）	
対象	社会人・他学部（他学科）卒業生		外国語能力に優れた方	
コース	法学未修者コース		法学未修者コース	
定員	10名程度		5名程度	
選抜	第1次選抜 (書類審査)	8月下旬(予定)	第2次選抜	9月中旬(予定)
試験会場	大阪会場／東京会場			
合格発表	10月下旬(予定)			

選抜区分	一般選抜			
対象	法学既修者		法学未修者	
コース	法学既修者コース		法学未修者コース	
定員	45名程度		10名程度	
選抜	第1次選抜 (書類審査)	10月中旬(予定)	第2次選抜	11月上旬(予定)
試験会場	大阪会場／東京会場			
合格発表	12月上旬(予定)			

選抜区分	特別選抜（法学部3年次生）			
対象	法学部3年次生（早期卒業予定者または飛び入学予定者）			
コース	法学既修者コース			
定員	10名程度			
選抜	第1次選抜 (書類審査)	実施しない (ただし出願資格審査あり)	第2次選抜	11月上旬(予定)
試験会場	大阪会場／東京会場			
合格発表	12月上旬(予定)			
備考	既修者科目認定試験：2021年2月上旬(予定) 大阪会場			

入試に関する日程や試験会場は、
決定次第 WEB 上で速やかに公表します

阪大 法科大学院

